

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 小松精機工作所							
代表者名	氏名	小松 誠	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県諏訪市四賀桑原942-2							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	24 金属製品製造業						
主たる事業の概要	自動車部品製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3,826	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	10	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

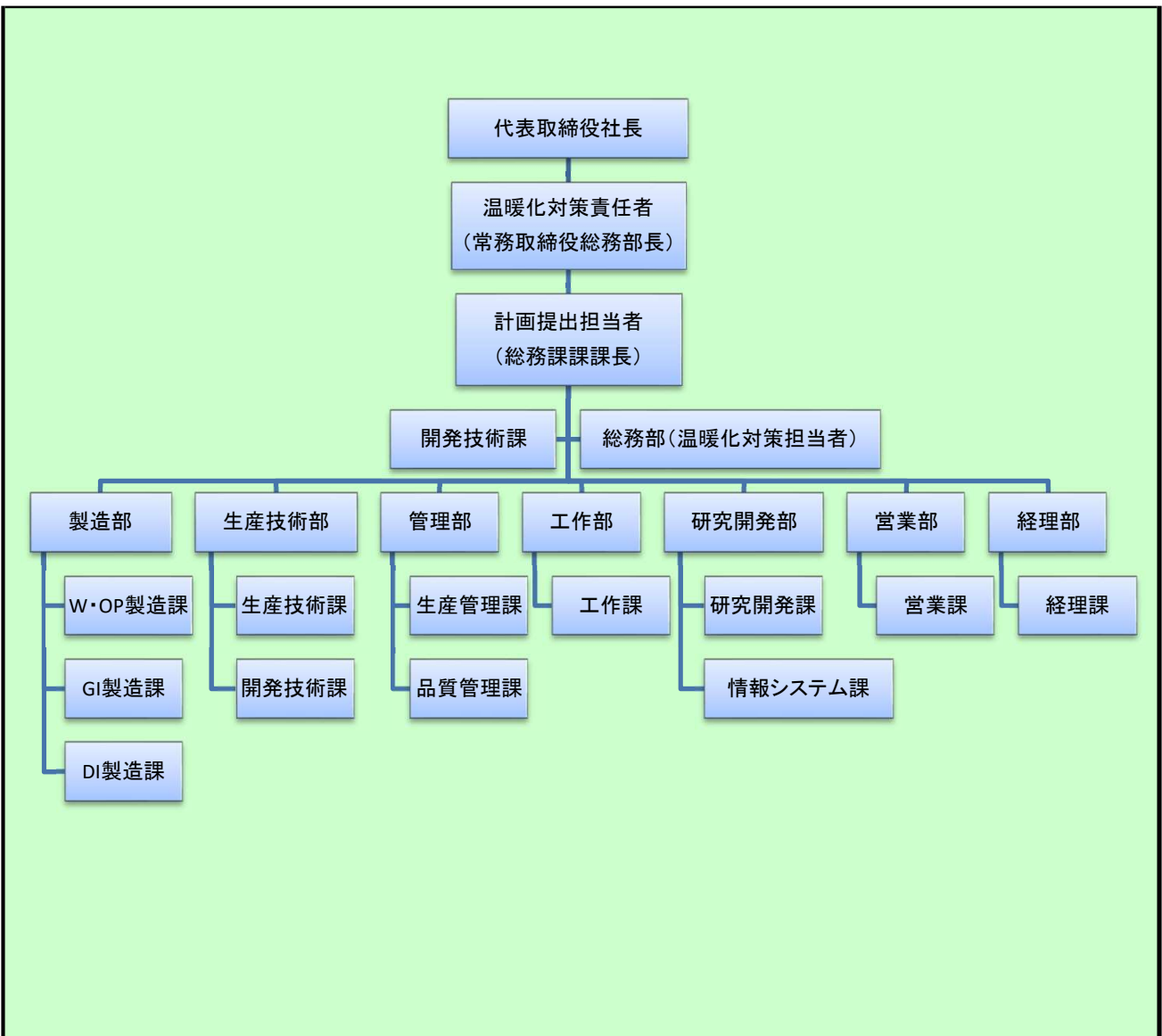
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	総務課窓口にて対応 電話（0266）52-6100

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

業務品質を向上

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5,983	t-CO <sub>2</sub>	売上高/労働時間	1.7352	単位	万円/h	
25年度	調整後排出量	4,480	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	3,448.02	t-CO <sub>2</sub> /	万円/h	
目標年度	目標排出量	6,043	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	3,482.50	t-CO <sub>2</sub> /	万円/h	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	-1.00	%	目標削減率	-1.00	%		
目標設定に関する説明	売り上げ増に伴う使用量増を見込み上記目標を設定							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,133	t-CO <sub>2</sub>	売上高/労働時間	1.6204	単位	万円/h	
	調整後排出量	6,089	t-CO <sub>2</sub>	原単位	3,784.87	t-CO <sub>2</sub> /	万円/h	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	-2.51	%	削減率	-9.77	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ビジネスによる設備増設及び立ち上げにより、加工設備と付帯設備の増設がありました。設備につきましては、調整しながらの稼働となりエネルギー消費量増加の要因となっております。</li> <li>・現在も立ち上げ調整中の為、安定生産まで時間を要すると予測されますが最善を尽くし最短でムダを省く努力をして参ります。</li> </ul>							
第二年度	排出量	6,824	t-CO <sub>2</sub>	売上高/労働時間	1.6719	単位	万円/h	
	調整後排出量	6,787	t-CO <sub>2</sub>	原単位	4,081.58	t-CO <sub>2</sub> /	万円/h	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	-14.06	%	削減率	-18.38	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ビジネスに伴う生産設備を、約60台導入し生産活動を開始しました。しかし、立上げ途中の設備が多分にあり安定生産までには、時間が掛かると予測されます。そんな中で僅かですが加工条件の見直しやエアブローの改善等エネルギー削減に関する改善を並行して開始しております。今年度から次年度にかけ現状を把握し中期計画を持ち活動を進めたいと考えております。</li> </ul>							
第三年度	排出量	7,878	t-CO <sub>2</sub>	売上高/労働時間	1.983	単位	万円/h	
	調整後排出量	7,822	t-CO <sub>2</sub>	原単位	3,972.77	t-CO <sub>2</sub> /	万円/h	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	-31.68	%	削減率	-15.22	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	新規ビジネス拡大に伴う、設備台数の増加、生産数量増及び人員の増加により電気使用量が増加。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	29	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	360703 コンプレッサの運転管理	27	12	27	12
2	エネ起	380752 LEDの導入	27	48	27	48
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	1503		44	37	56
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上					1	6,824	1	7,878
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,983	1	6,133				
1,500k1未満								
合計	1	5,983	1	6,133	1	6,824	1	7,878

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	1	1		
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車		1	1	
その他				2
合計	1	2	1	2
自動車総数	9	9	10	10
次世代車導入割合	11.1	22.2	10	20

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	90%
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	環境マニュアル (ISO14001)	2000.09.01
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	なし
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロール年7回実施</li> <li>社内改善提案実施 (省エネに関する内容を含む)</li> <li>照明設備の「LED」化の推進 (本年度 178本導入) 次年度以降継続</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロールの実施 (年7回)</li> <li>社内業務改善提案活動の推進</li> <li>照明設備の「LED」化の継続的推進 (実績: 250本) 次年度継続推進</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロールの実施</li> <li>照明設備の「LED」化の継続推進 (実績: 222本)</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	なし	
その他		